

# D-project

## 全国大会 in 和歌山

### D-projectとは？

デジタルヒューマンを軸に、豊かな学力とメディア創造力を育む授業デザインを提案する教育研究会です。

### 「子どもを信じて学びを拓く ～委ねる授業に効く教師の伴走と見とり～」

「もっと子どもたちに任せてみよう」——多くの教師がこの思いで学習形態やツールの選択を子どもに委ねる実践に挑戦しています。この流れは、学習者主体のメディア表現を重視するD-projectとしても、大いに歓迎すべきものです。ただし、ここで問いたいのです。**単なる「放任」になってしまいませんか？**

「子どもたちに学びを委ねる」には覚悟が必要です。それは、子どもたち一人ひとりが本来もっている可能性を信じたときに初めて可能になります。これまでのように、教師が課題を与えゴールまで引っ張っていき、「教師」が求める正解を導き出すのではなく、「子どもたち自身」が問いを立て、試行錯誤し、仲間と共に考える過程を保障することが重要です。その時に、学びは子どもたち自らが、「拓いていくもの」へと変わるでしょう。教師の予想を超えた学びが生まれるでしょう。では、そのような授業において、**教師の役割はどのように変化するのでしょうか？**

本研究会では、そのような学びの姿と教師の役割を求めて、実践検討やワークショップを通して、参加者の皆さんと探究していきたいと考えています。

2026年  
3月21日(土)

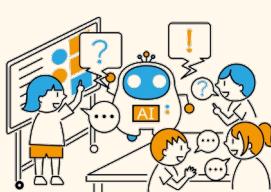
時間

10:00～17:00  
(受付:9:30～)

場所

和歌山大学

東2号館（教育学部講義棟）



大学へのアクセスは下記をご参照下さい。お車でお越しの場合は学内駐車場をご利用いただけます。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/about/access.html>

### 対面開催

定員150名（先着順）

資料代 1,000円

※プログラムは裏面を御覧ください。

### お申し込み

※お弁当の有無・懇親会への出欠及びポスター発表のエントリーも含みます。

事前申込が必要です。二次元コード、もしくは下記URLよりお申し込み下さい。

申込URL <https://dpro2026.peatix.com>

※事前にPeatix（チケットサイト）への登録が必要です。



主催：一般社団法人デジタル表現研究会（D-project）

共催：和歌山大学教育学部ICT・プログラミング教育支援室

# プログラム

10:00-10:20	開会と本日の道案内／賛助会員紹介
10:20-10:50	オープニングトーク：「学びを子どもに委ねる教師の役割」 <b>中川一史</b> （放送大学教授/D-project会長）
11:00-11:55	実践発表①「教師の役割を追究する」
11:55-12:55	昼食＆ランチタイムポスターセッション
13:00-14:15	実践発表②「先進的な事例（表現学習や学習者主体の授業をめざした実践）」
14:30-15:50	ワークショップ
16:00-16:45	総括セッション「D-pro流、学びを委ねる授業デザインのポイントとは？」 <b>中橋 雄</b> （日本大学/D-project副会長）、 <b>小林祐紀</b> （放送大学/D-project副会長） <b>山中昭岳</b> （さとえ学園小学校/D-project副会長）
16:45-17:00	クロージングトーク <b>豊田充崇</b> （和歌山大学/D-project副会長）

## 11:00-11:55 実践発表①（テーマ：教師の役割を追究する）※各分科会25名を想定

発表タイトル	A分科会 AI時代の学級歌制作 ～10%のAI利用がつくる100%の感動～	B分科会 子どもの創造性を育むためのマルチモーダルな表現活動と教師の見取り	C分科会 探究的な学びをデザインする～教科連携・STEAMの視点から～	D分科会 『強みを活かす！』～多様な表現からウェルビーイングへ～
発表者名 (所属)	山本直樹（関西大学初等部/D-project副会長）	石田年保（松山市立堀江小学校/D-project松山）	反田 任（同志社一貫教育探求センター/D-project関西）	稻田健実（福島県立相馬支援学校/D-project茨城）
コーディネーター	佐藤幸江（放送大学/D-project副会長）	前田康裕（熊本大学大学院/D-project副会長）	岩崎有朋（札幌国際大学/D-project副会長）	郡司竜平（名寄市立大学/D-project北海道）

※実践発表①については、参加申込時に参加を希望する分科会を1つ選択して下さい（先着順）。

## 11:55～12:55 昼食休憩＆「ランチタイムポスターセッション」

昼食時にお弁当を食べながら、フラっと立ち寄るポスターセッションを実施します。ポスターを貼り付ける場所（ブース）を提供致しますので、参加申込時に発表を希望される方はエントリーをお願いします。ポスターサイズは横100cm・縦120cmまでとさせていただきます（A4用紙を敷き詰めていただいても構いません。その場合は15枚程度を目安として下さい）。※なお、発表希望者であっても旅費等は支出致しませんのであらかじめご了承下さい。

## 13:00-14:15 実践発表②（先進的な事例：表現学習や学習者主体の授業をめざした実践）

各25分で3セッション（15分発表・10分質疑）：5分科会15組を予定。

※第2報でタイトル・発表者を掲載します。

## 14:30-15:50 ワークショップ ※各分科会20名定員

※参加申込時に参加を希望するワークショップを1つ選択して下さい（先着順）

	ワークショップA	ワークショップB	ワークショップC	ワークショップD	ワークショップE
テーマ	情報活用能力を高めるクリエイティブなプレゼンテーション体験	メディア・リテラシーを育むアプリを活かした授業デザイン	学習者主体を“放任”しない授業づくり～子どもの学びを支える教師の見とりと伴走を考える～	教育現場に活かす企業のテクノロジーとマネジメント思考	学びを委ねる韓国プログラミング体験
ファシリテーター	前田康裕（熊本大学大学院/D-project副会長） 佐藤幸江（放送大学/D-project副会長）	中橋雄（日本大学/D-project副会長） 山本直樹（関西大学初等部/D-project副会長）	小林祐紀（放送大学/D-project副会長） 岩崎有朋（札幌国際大学/D-project副会長）	福田晃（金沢大学附属コラボレーション推進室/D-project金沢） 水谷浩三（D-project顧問）	福士晶知（千歳市立千歳第二小学校/D-project北海道） ホン・ジョン（韓国ATC）

## ○懇親会：17:30～19:30（予定）

（学内レストラン フルール：会費制 5,500円）※要事前申込